

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学基盤演習Ⅱ		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
柁木 隆寿 他	B306	t.masaki	火曜日 14:40～17:50		
授業の目的・概要	<p><目的> 社会福祉の各分野についての現状や課題を学習するとともに、心や脳、人間社会で起こっている現象や多様な関係性について理解することで、関心領域における知見を深め、将来の職業選択について熟考できるようにすることを目的とする。</p> <p><概要> 毎回グループワークを中心とした討論と調べ学習を中心に展開していく。また、3年次の福祉心理学専門演習所属を検討するための課題を課す。</p>				
学習上の助言	講義内の課題やグループワークが多いため、積極的に授業へ参加すること。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	随時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉学、心理学に関連する専門的な文献を読むことができる。			WP(5)、(6)	
②	社会福祉学、心理学が将来どのように役立つかを理解し自分の言葉で説明できる。			WP(5)、(6)	
③	福祉や心理の学問が生かされる職業について理解し、自分の将来像を説明できる。			WP(5)、(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション：講義概要を理解する。	講義	シラバス・配付資料を熟読し、本講義の概要をまとめる。	3	
2	専門的な文献の検索方法、読み方について学ぶ。	演習	配付資料を熟読し、内容を整理する。	4	
3	福祉・心理の領域に関する文献を読み、発表資料を作成する①。	演習	文献を読み込み、効果的なプレゼンテーションとなるよう準備を行う。	4	
4	福祉・心理の領域に関する文献を読み、発表資料を作成する②。	演習		4	
5	福祉・心理の領域に関する文献を読み、発表資料を作成する③。	演習		4	
6	福祉・心理の領域に関する文献の発表を行う①。	発表	発表の準備を行い、発表後は改善点をまとめる。	5	
7	福祉・心理の領域に関する文献の発表を行う②。	発表		5	
8	福祉・心理の研究を体験する①。	演習	体験した内容について整理し、関連するテーマを調べる。	3	
9	福祉・心理の研究を体験する②。	演習		3	
10	福祉・心理の学問が活用されている職場の現状と課題を理解する①。	演習	各テーマに関連する事項を自分で調べ、まとめる。	4	
11	福祉・心理の学問が活用されている職場の現状と課題を理解する②。	演習		4	
12	関心領域を深め、将来の職業希望をまとめる①。	演習	これまでの内容を再度振り返り、発表に必要な情報を整理する。	4	
13	関心領域を深め、将来の職業希望をまとめる②。	演習		4	
14	関心領域を深め、将来の職業希望についての発表を行う。	発表		5	
15	後期全体を振り返る。	演習	シラバス・配付資料を熟読し、本講義の概要をまとめる。	4	
試					

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	40	0	60	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	10	0	5	15
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	5	5
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	10	20
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	10	30
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	2回の発表における、発表の構成および話し方などのプレゼンテーション能力、そして質疑応答の対応を評価する。				講義中及びオフィスアワーにて総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	演習への取り組み（練習、質疑応答、グループ作業）、提出された課題を総合的に判断する。				講義中及びオフィスアワーにて総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎榎木隆寿、宇賀美奈子、前川真奈美</p> <p>Microsoft Teams を用いて諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。</p> <p>また、全 15 回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>演習の欠席は 3 回までしか認められない。遅刻も 1 回で欠席 0.5 回の扱いになるので注意すること。</p> <p>実践的授業の内容： 現実社会に沿ったテーマによる個人発表、グループ発表などを行い、将来様々な現場で活用できるスキルの習得を目指す。</p>							